

議会 だより

こがし
古河市

第 **64** 号

令和2年9月1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
[ホームページ](#)

古河市議会

検索



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分散にて行われたWEB会議の様子

令和2年第2回臨時会・第2回定例会開催

第2回臨時会は5月8日の会期1日間で開かれ、認定6件、報告5件、議案3件について審議しました。

第2回定例会は新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、3密を避けるため、6月9日から6月12日までの会期4日間で開かれ、認定2件、報告8件、議案20件について審議しました。

一般質問は6月11日に行われ7名の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案2件が追加されました。陳情2件については、3ページの陳情結果のとおりとなりました。

令和2年第2回臨時会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第1号	令和元年度古河市一般会計補正予算（第7号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.5.8	承認
認定第2号	古河市税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.5.8	承認
認定第3号	古河市都市計画税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.5.8	承認
認定第4号	古河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.5.8	承認
認定第5号	令和2年度古河市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.5.8	承認
認定第6号	令和2年度古河市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.5.8	承認
議案第48号	古河市国民健康保険条例の一部改正について	2.5.8	原案可決
議案第49号	令和2年度古河市一般会計補正予算（第3号）	2.5.8	原案可決
議案第50号	令和2年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	2.5.8	原案可決

令和2年第2回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第7号	古河市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.6.9	承認
認定第8号	令和2年度古河市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	2.6.9	承認
動議1	議員増田悟君に対する懲罰動議	2.6.9	今定例会の出席停止
議案第51号	古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第52号	古河市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第53号	古河市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第54号	古河市税条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第55号	古河市都市計画税条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第56号	古河市手数料条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第57号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	2.6.12	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

令和2年第2回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第58号	古河市印鑑条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第59号	古河市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第60号	古河市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第61号	古河市介護保険条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第62号	古河市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	2.6.12	原案可決
議案第63号	財産の処分について	2.6.12	原案可決
議案第64号	市道の路線廃止について	2.6.12	原案可決
議案第65号	市道の路線認定について	2.6.12	原案可決
議案第66号	損害賠償の額の決定について	2.6.12	原案可決
議案第67号	令和2年度古河市一般会計補正予算(第5号)	2.6.12	原案可決
議案第68号	令和2年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第1号)	2.6.12	原案可決
議案第69号	令和2年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	2.6.12	原案可決
議案第70号	令和2年度古河市水道事業会計補正予算(第1号)	2.6.12	原案可決
動議2	黒川輝男議員が、議会全員協議会(令和元年10月18日)等を欠席してゴルフをしていた問題の調査特別委員会の設置を求める動議	2.6.12	否決
議員提出 議案第2号	古河市議会の議員の報酬の特例に関する条例の制定について	2.6.12	原案可決
議員提出 議案第3号	「刑事訴訟法の再審規定(再審法)」の改定を求める意見書	2.6.12	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

陳情結果

番号	件名	提出者	審議結果
令和2年 陳情第1号	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)」の改正を求める意見書の提出を求める陳情書	日本国民救援会茨城県本部 会長 田村 武夫	採 択
令和2年 陳情第2号	種苗法改正案の取りやめを求める意見書の提出を求める陳情	栗田 紀子	継続審査

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党				真政会				市民ベースの会				無党派						
	鈴木隆	佐藤泉	大島信夫	鈴木務	小森谷博之	渡邊澄夫	高橋秀彰	佐藤稔	霧見久美子	渡辺松男	黒川輝男	赤坂育男	青木和夫	稲葉貴大	園部増治	落合康之	増田悟	倉持健一	阿久津佳子	長浜音一	生沼繁	小山高正	古川一美	秋庭繁
動議 1			○					○		○		○		-	×	×	退		×		×	○	○	×
動議 2			×					×		退		×		-	×	×	停		○		×	×	×	○

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

※退席議員は「退」と表示、出席停止議員は「停」と表示。

動議 1 「議員増田悟君に対する懲罰動議」

令和2年第2回定例会初日に、増田悟議員に対する懲罰動議が青木和夫議員ほか9名より提出され、懲罰特別委員会にて審議後、本会議にて可決されました。

提出理由

令和2年第1回古河市議会定例会（3月17日）の一般質問において、確かな筋の情報としてタイ旅行はツアーで、JALの飛行機で行った、指名業者3社が同行したなど発言を取り消したにも関わらず、疑惑の4日間として新聞折り込みやポスティングを行い、市民を惑わした事や議会の品位や権威をおとしめるものであり、議会の信用失墜になる。よって議会として、また議員として名誉のため懲罰を科されたい。

審議結果

可決【令和2年第2回定例会の出席停止】

※出席停止とは懲罰を科された議員が本会議や委員会へ出席することを禁止することを指し、同時に議員としてのすべての権限の行使が停止される。

動議 2 「黒川輝男議員が、議会全員協議会（令和元年10月18日）等を欠席してゴルフをしていた問題の調査特別委員会の設置を求める動議」

令和2年第2回定例会最終日に、黒川輝男議員に対する動議が秋庭繁議員ほか2名より提出され、本会議にて否決されました。

審査目的

議会の信用失墜行為の真相解明及び、議会の権威と品位、名誉回復のため度重なる議会欠席の理由について

審議結果

否決

第2回
定例会

一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月11日に行われ、7名の議員が登壇し、質問がされました。

今定例会については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、特別な措置として、各会派代表者並びに無会派の計7名により通常よりも時間を短縮し、新型コロナウイルスに関連する事項に限定して行われました。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



青木 和夫 議員

検査体制の確立について

問 PCR検査車が導入されるが、運用方法について伺う。また、現状の検査体制はどうなっているのか。

答（健康推進部長） 運用方法については、医療機関の診察等で検査を必要と判断された患者が地域外来・検査センターで医師により検体採取を行い、PCR検査機関へ検査を依頼する。現状の検査体制については、茨城

県が古河市医師会への委託を行い、古河市が協力する形で地域外来・検査センターを開設する準備が進んでいる。



水道料金の全額免除について

問 水道料の基本料金、月額4千万円を4カ月免除は大いに評価出来るが、それに加え使用料を含めた全額免除を要望する。

答（市長） 緊急事態宣言後に再開された経済活動を注視し、水道事業における経営状況などを考慮した上で、必要に応じて市

民や事業者への支援に努めたい。

高齢者の生活支援拡大について

問 75歳以上の高齢者に対する支援は、公的サービスも含め多々あるが、市独自の支援策として、75歳以上の高齢者へ1万円、財政的に厳しければ5千円をプレミアム商品券で給付することを要望する。

答（市長） 新型コロナウイルスにより高齢者の生活に影響があるかどうか状況を見極め、高齢者への支援が必要と判断した時には、プレミアム商品券や優遇措置等を検討したい。

答（福祉部長） 高齢者の生活に生じる不安を軽減できるように支援を行いたい。



落合 康之 議員

新型コロナウイルス対策について

問 (1) 市長および市幹部の管理体制について①市民への情報発信は適切であったか。②インターネット環境のない市民への周知 (2) 緊急対策について③第1次から第3次の緊急対策は市民に理解されるものであったか。④小中学校の臨時休校対応は十分であったか。⑤生活者支援と事業者支援の優先順位は的確であったか。⑥医療的ケア児者への対応⑦介護保険利用者のうち、

通所等デイサービスの利用状況 (3) 学校教育オンライン授業について⑧児童生徒のインターネット環境⑨eライブラリのアクセス件数、以上9点について伺う。

答 (市長) ③市独自の対策が市民すべての要求に対応できたとは考えていない。今後も事業活動等の実態把握に努め真に必要な緊急対策を講じていきたい。

⑥日常必要な消毒等は、家庭で備蓄をお願いするとともに、市でも災害対策用の医薬品等物資として検討していきたい。

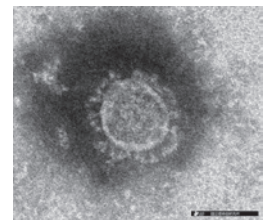
答 (教育長) ⑧端末貸し出し調査で希望のあった654世帯に貸し出しを行った。⑨5月の1カ月に中学校合計68,484件、1人当たり20.4回アクセスがあった。

答 (企画政策部長) ①市ホーム

ページ等での発信のほか、広報紙や各庁舎への情報掲示を行った。②紙媒体により新型コロナウイルス感染症に関する情報等の配布、回覧を行った。⑤市としてはどちらが優先ではなく、必要な対策を順次できることから重点的に実施していきたい。

答 (福祉部長) ⑦3月を1年前と比較すると、利用率3.3%、介護給付費7.9%の増となった。

答 (教育部長) ④子どもの健康、安全を第一に考え、感染リスク低減のために臨時休校とした。



新型コロナウイルス顕微鏡写真
提供：国立感染症研究所



鶴見 久美子 議員

新型コロナウイルス対策について

問 ①感染者の対応について、PCR検査等保健所との連携、市独自の検査体制について伺う。②学校休業時における対応について、タブレット端末等の貸し出し状況、またICT化におけるGIGAスクール構想に対する課題等について伺う。③災害時における避難所等について、感染拡大時の避難所の運営方針、備蓄品等の現状、車中泊のための青空避難所の検討について伺

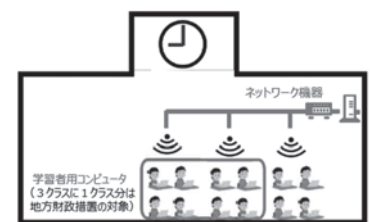
う。また、妊産婦や重症心身障がい者の方が民間のホテル等を利用した時の、宿泊費の助成制度について伺う。

答 (総務部長兼危機管理監) ③市の基本的考え方として、感染症拡大防止に向けた分散避難の推進等に努めている。また、衛生管理としてマスクを9万枚配備し、消毒液などの購入を進めている。青空避難として、浸水想定区域外の小堤スポーツ広場等の駐車場を用意している。宿泊費の助成については、市内の多くのホテル等が浸水想定区域内のため、対象者、金額を含め慎重に検討していきたい。

答 (健康推進部長) ①保健所と緊密な情報共有を行い、電話相談業務の負担軽減として保健師

を派遣している。また、PCR検査については古河市医師会が中心となり、地域外来・検査センターが近日中に運用開始できるよう進めており、市としても全面的な協力体制を取っている。

答 (教育部長) ②ICT端末や通信環境が整っていない654世帯を対象に端末の貸し出しを行った。GIGAスクール構想での課題として、今後端末更新時期を迎えた際の財源の確保が課題となっている。



※ 支援メニュー (①校内LAN整備+端末整備、②端末独自整備を前提とした校内LAN整備、③LTE通信費等独自確保を前提とした端末整備)

GIGAスクール構想の実現



佐藤 泉 議員

新型コロナウイルス感染症対策 について

問 第2波、第3波の襲来に備えて、2つの提案をする。①来庁した市民に対して、手のアルコール消毒や非接触型体温計による検温、もしくはサーマルカメラによる温度測定、そしてマスク着用の義務づけを提案する。②新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行する可能性に備え、市民全員を対象とするインフルエンザ予防接種費用の全額公費負担を提案する。予

算的に厳しいのであれば、後期高齢者と18歳未満の費用を無料にすることはどうか。現在、古河市内のインフルエンザ予防接種費用は約4,500円だが、針谷市長が医師会と調整をして、対応いただきたい。



答（市長） ①新しい生活様式の中では、人が集まる場所のエチケットの一つとして、市役所に限らず、社会的教育施設も含め、いろいろな場所で検温やマスクの着用を行うことが必要であると考えている。市役所での感染

予防も含め、広報活動により市民の感染予防の意識を高め、できるだけ多くの手段を用いて、事前周知に努めていきたい。また、今後想定される第2波、第3波の発生を考えると、感染予防対策の強化は必須である。市役所でのクラスター感染を防止する取り組みは大変重要であるため、提案については十分に検討していきたい。②財政面での検討も必要であるが、医療体制側の受け入れ態勢、必要となるワクチンの十分な量の確保といった面でも、現状では課題が残っている。市では、予防接種業務を円滑に推進するために、市内医療機関の医師を委員とした予防接種委員会を設けているため、必要に応じて意見を伺いたい。



古川 一美 議員

新型コロナウイルス感染症対策 と経済の両立について

問 長引く休業要請や自粛生活などにより、日本経済は危機的状況に近づきつつある。感染への恐怖から、心的ストレスや運動不足による健康障がいなど、感染そのものよりも大きな人的、社会的損失につながると懸念される。感染症対策と経済の両立に智慧を絞る必要があるが、①市の経済への影響と対策②学校休業による子どもたちへの影響と対策③増加が予想される児童

虐待やDVへの対策④地域支援事業中止による高齢者対策⑤第2波に備えた対策⑥消費喚起と経済支援のため、国に消費税減税を求めることについての所見、以上6点について伺う。

答（市長） ⑤第2波を招かないようにしていくことが大切である。市民1人1人の新しい生活様式の実践等により社会経済を動かしていくことが不可欠であるため、社会経済活動が止まることのないよう最善を尽くしていきたい。⑥国の一般会計補正予算の財源が国債で賄われている現状があり、消費税減税は困難と思われるが、国への要望は市長会を通じ検討していきたい。

答（教育長） ②学力低下を防ぐための学習プリントの配布や、

生徒の様子を把握するために、ICTを貸し出し、ビデオ会議システムで学級活動を実施した。

答（福祉部長） ③要保護児童対策地域協議会登録の特に注意が必要な60人に、週に1度状況確認し対応している。特別定額給付金をDV被害者が受け取るための証明書発行の際に、安全な生活のための相談支援を行った。

答（健康推進部長） ④ホームページに自宅でできるシルバーリハビリ体操動画を掲載している。

答（産業部長） ①市独自の事業者支援として古河市緊急事業者支援給付金を創設した。





秋庭 繁 議員

新型コロナウイルスと古河市の危機管理について

問 ①PCR検査と医療体制の強化として医師会の検査車の運用について②不安のある陽性者の自宅待機をなくす入院先確保について③暮らしと雇用、営業を守る支援について、特に商業、工業、農業への支援策について④特別定額給付金一人10万円の追加支給の国・県への要請について⑤学校休校に伴う児童クラブの追加費用の補助、および家庭保育等に協力した保護者への

補助金について⑥学校再開にあたっての感染拡大防止、感染が発生した場合の対策⑦体育館等の3密対策と古河市の危機管理について伺う。

答（市長） ④日本全体が感染症対策と社会経済活動の維持の両立に取り組んでおり、国、県に追加支給を求めることは、現時点では回答が困難である。

答（企画政策部長） ③国で審議中の第2次補正予算案には、中小、零細事業者を対象に家賃を負担する予算も盛り込まれているため、情報収集していく。

答（福祉部長） ⑤家庭保育にご協力いただいた保護者への利用料の減額は行ったが、それ以外の補助は、国や県の動向を注視し、適切に対応したい。

答（健康推進部長） ①車を利用するウオークスルー方式を中心に進めている。②安全な療養施設の確保は、市民の安心感を高めるため、県や保健所等の連携を強く図って進めたい。

答（教育部長） ⑥臨時休校を実施し、校内の消毒を十分に行った上で、保健所や学校医と相談し、学校内の活動状況などを踏まえ、協議、検討していく。⑦ガイドラインを作成し、安全なスポーツ環境を整えながら、施設の貸し出しに努めたい。



古河市医師会のPCR検査車



小山 高正 議員

ICT教育について

問 ①GIGAスクール構想の古河市内での進捗状況②オンラインによる教育環境の今後の見通し③公立学校情報機器整備費補助金の執行時期はいつか伺う。

答（教育部長） ①今回の端末整備で本年度中に9,320台となり、1.1人に1台の整備率となる。残り約1,200台は来年度以降に整備していきたい。②端末の整備を進め、児童生徒と教職員が双

方向でつながることができる方法を探り準備を進めていきたい。③今回の補正予算ではGIGAスクール構想の前倒しで全学年対象となったことに合わせ、予算計上している。

子育て支援について

問 感染者等の子ども一時預かり等事業の設置・運営状況と今後の見通しについて伺う。



答（福祉部長） 養育が可能な親族がおらず、子どもだけで自宅での生活が困難な場合は、児童保護施設等において実施される

子育て短期支援事業等の利用や、児童相談所との連携で一時保護での対応を検討していきたい。

高齢者支援について

問 感染症のパンデミックや災害の発生時に、安否確認や情報伝達の方法として幅広く活用できるスマートフォンアプリケーション・クレバーメディアのシステム導入を求めるがいかがか。

答（総務部長） スマートフォンを持っていない方でも、専用の端末を用いることで従来の情報伝達手段を補完し得る可能性を備えたツールである。市全体においてどのように活用できるのか、今後費用対効果も含め、調査研究を進めていきたい。

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

当会派は、6月4日にサンオーコミュニケーションズの視察を行った。インターネット・オフィスネットワーク・システム開発・人材育成・福祉支援などを手掛ける会社で、古河市のイングリッシュキャンプにも支援いただいている会社である。視察内容を今後に生かすために、地元

企業との教育ICT等連携を推進していきたい。

5月21日には新型コロナウイルスへの緊急対策の実施に関する要望書を市長へ提出した。要望書には、市民生活への支援拡大のための施策として、7つの項目をあげた。

今後についても、新型コロナウイルス感染症防止に努めるとともに、苦境にあえぐ市民への支援策を強く要望していきたい。



鈴木 隆 佐藤 泉
大島 信夫 鈴木 務
小森谷博之 渡邊 澄夫

古河市公明党

古河市公明党は新型コロナウイルス感染拡大への「緊急対策要望書」を、2月20日と4月16日に市長へ提出しました。国の支援策が市民に遅滞なく届くための万全な体制づくりと、市民に寄り添った市独自の支援策を求め、①感染が疑われる市民の相談体制の強化、②市民の経済的

負担の軽減を目的に、水道料金・給食費の免除、子育て支援・企業支援など、最大限の支援を求めました。

今般のコロナ禍において、本市では次のような支援策を行っています。①国の1人10万円給付について、申請書のダウンロード方式を実施し早期申請を実現。②子育て世帯の子ども1人に1万円を、市独自に給付。③水道基本料金および給食費4か月分の免

除等。

古河市公明党は、今後も、市民生活の安全と安心を見据えた活動を、着実に進めてまいります。



要望書を提出する古河市公明党
高橋 秀彰 佐藤 稔
靄見久美子 渡辺 松男

真政会

新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るい多くの尊い命を奪い、経済に大きな打撃を与え、市民生活にも大きな不安をもたらしています。そしていまだ収束の兆しもみえません。

この非常事態の中、政治の果たすべき役割は大きく、責任も重大であります。

真政会としては、その対策と市民の生命、安心、安全な生活を守るために、検査体制の確立、生活支援の拡大、感染拡大防止などの緊急な事項を市長へ要望しました。コロナ禍による市民の不安を解消するためには、PCR検査などの検査体制の充実と安心して治療が受けられる医療体制の整備が必要であります。

また、雇用を支える中小企業の経営の安定化はかせません。

この困難な事態を市民と市と議会が一体となって乗り切らなければなりません。



黒川 輝男 赤坂 育男
青木 和夫 稲葉 貴大
園部 増治

～ 会派の活動を報告します ～

市民ベースの会

1月22～23日に産官学民協働提携「ICTコンソーシアム(情報通信技術事業共同体)」の先進事例である静岡県藤枝市、島田市を視察した。ICT化は学校教育、市部局における業務の質や効率改善、市民生活の活性化はもちろん、地域産業の育成・活性化が期待できる。先進地か

ら学んだことを今般の国のGIGAスクール構想をはじめとする事業に積極的に提言したい。

また、翌24日には古河駅西口再開発のアイデアを得るために、先進地である小田原駅東口のお城通り地区再開発事業を視察した。当該事業は、基本計画から34年が経過しており、各所に並々ならぬ苦労がにじみ出ているのが印象的であった。図書館や子育て支援センターなどの公共施

設に加え、ホテル等の複合施設があり、本年12月にオープンとの予定となっている。



落合 康之 増田 悟
倉持 健一 阿久津佳子
長浜 音一 生沼 繁

会派に属さない議員

年間総括として、一般質問(毎回)では病児病後児保育事業の

新たな道筋の提案、不登校児、障がい者、高齢者、防災への各対策と、空き家対策に成年後見や財産管理委任制度活用を提案した。また、議案の質疑を欠か

さず行い、条例運用時の問題点を指摘できたことで、皆さまに託されたお役目を果たせたと感じている。今後も言論中心に活動をしていく。(小山 高正)

会派に属さない議員

地方議員研究会主催の研修に参加し、地方議会等について学

びました。また、市民の皆さまより寄せられたご意見をもとに、毎回一般質問で政策を提案させていただき、その中で、自校式給食室への空調設備設置と、高

齢者の急発進制御装置設置の補助が実現致しました。今後も皆さまの声に耳を傾け、市政に反映させるために努力精進してまいります。(古川 一美)

会派に属さない議員

新型コロナウイルスによる影響調査と対策について

新型コロナウイルス感染拡大防止の3密対策、外出自粛等による市内業者の方々への影響調査と相談活動などを行っています。

通常の市政報告会等ができないために、電話や個々訪問、街頭での宣伝カーによる訴えも行っていきます。

(秋庭 繁)

副議長が変わりました

定例会最終日の6月12日に、大島信夫副議長の辞職に伴う副議長の選挙が行われ、靄見久美子議員が選出されました。

また、副議長の就任に伴い、靄見久美子議員は文教厚生常任委員会委員長を辞職し、委員長として新たに青木和夫議員が選出されました。



副議長 靄見 久美子

新型コロナウイルス感染防止対策のため、 議会費の削減に取り組む！

古河市議会では、現下において新型コロナウイルス対策が最も優先されるべき、喫緊の課題であるとの認識から、切れ目のない感染拡大防止対策費の財源を確保するため、本年度議会費予算のうち、以下の議会経費 1,190 万円を削減することとしました。

また、感染防止対策が長期化する場合は、引き続き、さらなる削減の取り組みを検討します。

1. 議員報酬の削減 …… 390 万円

7月分から10月分支払いの議員報酬について、月額報酬の100分の10を乗じた額を削減する。(6月議会にて議員提出議案として提出)

2. 政務活動費の返還 (50%分) …… 360 万円

政務活動費の年間支給総額 720 万円のうち、50%分を返還する。

3. 視察研修関連経費の削減 …… 440 万円

- ①常任委員会、議会運営委員会及び議会だより編集委員会研修旅費
- ②上記研修に係る随員職員の旅費

削減した経費は、市民生活の安全と不安解消を図るため、次のとおり活用することを要望しました。

1. PCR検査等の拡充をはじめとした検査医療体制の充実強化
2. 小中学校のオンライン授業を実施するにあたって必要な備品等の整備
3. 自然災害発生時に、安全な避難所運営を図るためのマスク等の衛生用品の備蓄

新型コロナウイルス感染防止対策のための議会費の削減についての要望書を、5月26日に園部議長、大島副議長より針谷市長あて提出しました。



新型コロナウイルスへの議会の対策

新型コロナウイルスの感染拡大防止の一環として、議場内での3密を回避するため、令和2年第2回臨時会および第2回定例会において、入れ替えにより出席議員を半数程度に調整して開催しました。

そのほか、本会議場の扉の常時開扉、入室する議員並びに執行部へのマスク着用の呼びかけ、非接触型の体温計での測定等、対応しました。



常任委員会市内 視察報告

令和2年7月豪雨をはじめとした、日本各地での河川の氾濫による浸水被害が発生しています。本格的な台風シーズンを迎える前に、本市における令和元年台風19号等の被害状況および教訓を踏まえ、コロナ禍での災害対応等の取り組みについて、全委員参加のもと市内視察を実施しました。

委員構成及び所管事項

●総務常任委員会（9名）

委員長 稲葉 貴大 副委員長 小森谷 博之

委員 秋庭 繁、高橋 秀彰、生沼 繁、佐藤 泉、落合 康之、渡辺 松男、園部 増治

所管事務 企画政策部、総務部、財政部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に属する事項 他

●文教厚生常任委員会（8名）

委員長 青木 和夫 副委員長 小山 高正

委員 古川 一美、鈴木 務、阿久津 佳子、靄見 久美子、大島 信夫、長浜 音一

所管事務 市民部、福祉部、健康推進部および教育委員会の所管に属する事項

●産業建設常任委員会（7名）

委員長 佐藤 稔 副委員長 増田 悟

委員 鈴木 隆、赤坂 育男、倉持 健一、渡邊 澄夫、黒川 輝男

所管事務 産業部、都市建設部、上下水道部および農業委員会の所管に属する事項

総務常任委員会

○視察日 7月28日（火）

○視察地 ①市役所：災害に係る市の取り組み状況について（防災体制強化・新型コロナウイルス感染症対策）

視察項目

②茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部：災害発生時における消防本部のBCP計画[※]と令和元年台風19号の状況および今後の災害時の対応について

③備蓄品保管場所：備蓄品の状況確認

【視察結果と主な意見】

①災害に係る市の取り組み状況については、三和庁舎への災害対策本部機能移転に関する進捗状況や災害時の対応策等について、適切に取り組んでいることが確認できた。

②災害発生時における消防本部のBCP計画と令和元年台風19号の状況および今後の災害対応については、消防本部のBCP計画が策定されており、それに基づき消防本部が行動し、毎年見直しを実施している。また、台風19号による大雨の状況を時系列にした説明を受け、消防本部の緊迫した状況や消防長を

はじめ消防署員が適切に任務を遂行し、市民を守る行動をしていたことが確認できた。

③備蓄品の状況確認について、備蓄品の搬出が迅速に対処できるよう、対策が必要である。



視察地（茨城西南広域消防本部）

※ BCP計画：災害時等における損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。

文教厚生常任委員会

- 視察日 7月27日(月)
 ○視察地 ①上辺見保育所：新型コロナウイルスの対応について
 視察項目 ②学校給食センター：新型コロナウイルスの対応について
 ③三和地域福祉センター：福祉避難所について

【視察結果と主な意見】

①上辺見保育所については、コロナ禍における衛生管理や園行事の実施方針等を確認した。業務増加傾向の職員の負担軽減を図る施策実施が求められる。また、3密を避けながらの保育は大変であるが、子供たちの安心・安全を確保しながら業務の遂行をお願いしたい。

②給食センターについては、新型コロナウイルスや食中毒防止のため7月から8月に副菜を減らす方針のもと、取り組んでいる。栄養面を考慮した献立となっているが、よりよい献立内容となるよう再度検討を望む。

③福祉避難所については、間仕切りの追加や敷地内の除草等の環境整備をすぐに対応すべきである。また、新型コロナウイルス感染予防に対応したマニュアルの作成が必要である。



視察地（学校給食センター）

産業建設常任委員会

- 視察日 7月28日(火)
 ○視察地 ①利根川上流河川事務所：利根川河川整備について
 視察項目 ②道の駅まくらがの里こが：コロナ禍での影響・駐車場拡張について
 ③仁連地区新産業用地：造成地の現状について

【視察結果と主な意見】

①利根川上流河川事務所へは、流域市町村と連携し、五県連合利根川上流改修促進期成同盟会^(※)等により要望活動を行っている。利根川左岸築堤の整備状況と今後の予定も確認することができた。また、台風19号時での漏水等は発生していなかった。

②道の駅については来場者の利便性を考えた駐車場拡張整備の状況を確認した。新型コロナウイルス感染症対策としての消毒液の設置等をはじめとする、ソーシャルディスタンスを意識した対策を行っていた。市への要望

としては、道の駅の指定管理者等についての監査体制の強化を望む。

③概ね順調に進捗していると確認できたが、未公募部分は早急に新規の雇用が期待できる製造業を優先的に誘致することを望む。



視察地（堤防強化が進む利根川左岸 古河市側）

※埼玉、栃木、群馬、茨城、千葉の五県の流域市町等で構成される同盟会。

議員表彰

永年、市議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会より1名の議員、茨城県市議会議長会より2名の議員が表彰されました。



全国市議会議長会
《議員在職15年表彰》
鈴木 隆 議員



茨城県市議会議長会
《議員在職15年表彰》
鈴木 隆 議員
《議員在職8年表彰》
青木 和夫 議員

◆◆◆ 令和2年 第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

月日	会議	内容
9月3日(木)	本会議	開会、議案の説明
9月4日(金)	休会	議案調査
9月7日(月)	本会議	質疑、議案の委員会付託
9月8日(火)	常任委員会	総務常任委員会、文教厚生常任委員会
9月9日(水)	常任委員会	産業建設常任委員会
9月10日(木)	特別委員会	決算特別委員会
9月11日(金)	特別委員会	決算特別委員会
9月14日(月)	特別委員会	決算特別委員会
9月15日(火)	本会議	一般質問
9月16日(水)	本会議	一般質問
9月17日(木)	本会議	一般質問
9月18日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

第2回臨時会の傍聴者数

本会議 6人

第2回定例会の傍聴者数

本会議 22人

委員会 0人

合計 22人

※傍聴者数は延べ人数

議会の様子を見てみよう!

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。

古河市議会 中継 検索



- 時間は午前10時からの開催予定です。
- 文教厚生常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

第2回定例会の一般質問では、新型コロナウイルスに関連する事項と限定し行われ、各会派代表の7名が登壇し、市民の安心・安全の観点からさまざまな質問が行われました。緊急事態宣言が解除された今日は、感染拡大を予防する新しい生活様式を実践し、早期の社会経済活動の回復が望まれます。

古河市議会では議会だよりの表紙を募集しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

委員長 鈴木 務

【議会だより編集委員会】

- 委員長 鈴木 務
- 副委員長 阿久津佳子
- 委員 小森谷博之 稲葉 貴大
- 高橋 秀彰 生沼 繁

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎0280-22-5111(代)



環境にやさしい植物油インキを使用しています